

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月7日

上場取引所 東

上場会社名 北雄ラッキー株式会社
 コード番号 2747 URL <http://www.hokuyu-lucky.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 川端 敏
 (氏名) 桐生 宇優

TEL 011-558-7000

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	21,306	△1.3	△34	—	△52	—	△82	—
26年2月期第2四半期	21,581	0.1	214	△3.0	174	1.3	94	89.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△13.09	—
26年2月期第2四半期	14.89	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	20,187	4,296	21.3	679.66
26年2月期	18,680	4,425	23.7	700.04

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 4,296百万円 26年2月期 4,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,800	1.9	368	△22.6	430	△0.4	230	10.1	36.38

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	6,323,201 株	26年2月期	6,323,201 株
27年2月期2Q	979 株	26年2月期	979 株
27年2月期2Q	6,322,222 株	26年2月期2Q	6,323,201 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	8
第2四半期累計期間	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景として企業収益の改善や設備投資の増加がみられ、4月以降には消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動などにより、一部に弱い動きがみられるものの、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、海外景気の下振れ懸念に加えて、円安による原材料価格の上昇や電気料金値上げなどの国内景気の下押し要因もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、少子高齢化の進行に伴う市場の縮小と企業の淘汰・再編が加速する厳しい経営環境が続くものと思われませんが、一方では景気を持ち直しに伴い上質化商品がヒットするなど、お客様の求める品質や価値を追求すること及びニーズに対応することで、新たな販売チャンスの拡大と捉えることができます。

このような状況のなか、当社におきましては、「おいしいものを食べたい、豊かな食生活を楽しみたい」というお客様の期待にお応えするべく、「食生活提案型スーパーマーケット」の構築を目指してまいりました。そのために、「おいしさ」の追求と「品質」「鮮度」の徹底、また地域の需要に対応した品揃えの実現に努めてまいりました。そして、急速に進む少子高齢化の対応として、簡便・即食・個食といった需要の取り込み、更に料理の楽しさや日本の伝統的な食文化継承のための提案をすることを課題として取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間におきましては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要に加えて倶知安店開店の協賛セールなどにより、3月の業績は既存店売上高が前年同期比108.8%となるなど大きく伸長いたしました。しかしながら、4月以降においては、駆け込み需要の反動による消費落ち込みからの回復が遅れていること及び消費税増税・物価上昇に伴う消費者の生活防衛意識や節約志向の高まりなどにより、当第2四半期累計期間における既存店売上高は前年同期比98.1%となりました。部門別としては、米・タバコの消費が低迷するグロサリー部門と夏物セールなどが不調であった衣料部門の不振が大きく影響し、売上高は前年同四半期と比較し減少となりました。利益面におきましては、当社の旗艦店であります山の手店が店舗建替のため約4か月間に亘り改装休業したこと、また、上期の新装開店(倶知安店、山の手店)に伴う一時費用の発生などにより、売上高の減少に加えて販売費及び一般管理費の増加要因が重なり、経常利益も前年同四半期と比較し減少となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高213億6百万円(前年同期比98.7%)、経常損失52百万円(前年同期は経常利益1億74百万円)、四半期純損失82百万円(同四半期純利益94百万円)となりました。

当第2四半期累計期間における主要な設備の状況につきましては、平成26年3月7日に虻田郡倶知安町に倶知安店(食料品・衣料品共同店)を新規開店しております。改装店舗としては、山の手店が約4か月間の改装休業を経て同年7月15日より新装開店しております。

平成26年8月31日現在の店舗数は、35店舗であります。

なお、平成26年10月2日函館市に桔梗店(衣料品店)を新規開店しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較し15億7百万円増加し201億87百万円となりました。

その主な要因は、現金及び預金の増加が5億63百万円、建物の取得による増加が3億90百万円、リース資産の増加が3億29百万円であったことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較し16億36百万円増加し158億90百万円となりました。

その主な要因は、短期借入金が9億81百万円、社債が1億30百万円減少したものの、支払手形及び買掛金の増加が12億38百万円、長期借入金(1年内返済予定を含む)の増加が8億58百万円、リース債務の増加が流動負債及び固定負債合わせて3億54百万円、未払金の増加が1億45百万円であったことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較し1億28百万円減少し42億96百万円となりました。

その要因は、その他有価証券評価差額金が17百万円増加したものの、株主配当による減少63百万円及び四半期純損失82百万円の計上によって利益剰余金が1億45百万円減少したことによるものであります。

③ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ4億63百万円増加し、8億62百万円(前事業年度末残高は3億98百万円)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は17億95百万円(前年同四半期は15億57百万円の獲得)となりました。これは主に仕入債務の増額が12億39百万円であったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億76百万円(前年同四半期は4億円の使用)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入が9億30百万円であったものの、定期預金の預入による支出が10億30百万円、有形固定資産の取得による支出が6億38百万円であったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億54百万円(前年同四半期は10億94百万円の使用)となりました。これは主に長期借入れによる収入が14億30百万円であったものの、短期借入金の純減額が9億81百万円、長期借入金の返済による支出が5億71百万円、リース債務の返済による支出が1億40百万円、社債の償還による支出が1億30百万円であったことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期業績につきましては、記載のとおり厳しい結果とはなりましたが、今後とも販売促進の強化、人的効率のアップ、徹底したコストの削減を継続し、売上と利益の確保に努めてまいります。

なお、当社の業績予想につきましては、現時点において平成26年4月11日決算短信にて公表いたしました数値から変更はありません。今後、変更がある場合には適切に開示してまいります

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,428,757	1,992,704
受取手形及び売掛金	295,463	378,042
商品及び製品	1,749,742	1,690,953
原材料及び貯蔵品	108,107	80,681
前払費用	128,488	131,352
繰延税金資産	77,392	111,396
未収入金	399,163	374,611
その他	36,765	40,332
貸倒引当金	△540	△540
流動資産合計	4,223,340	4,799,534
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,094,283	9,590,210
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,703,356	△5,808,868
建物(純額)	3,390,927	3,781,342
構築物	556,665	625,444
減価償却累計額及び減損損失累計額	△449,974	△458,740
構築物(純額)	106,690	166,703
機械及び装置	610	610
減価償却累計額及び減損損失累計額	△122	△170
機械及び装置(純額)	488	439
車両運搬具	3,332	3,332
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,193	△3,228
車両運搬具(純額)	138	103
工具、器具及び備品	386,875	413,785
減価償却累計額及び減損損失累計額	△340,681	△346,665
工具、器具及び備品(純額)	46,194	67,119
土地	7,214,054	7,214,054
リース資産	1,304,924	1,690,525
減価償却累計額及び減損損失累計額	△744,358	△800,174
リース資産(純額)	560,565	890,351
建設仮勘定	6,595	4,300
有形固定資産合計	11,325,654	12,124,414
無形固定資産		
ソフトウェア	10,267	11,703
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	28,496	29,932
投資その他の資産		
投資有価証券	205,446	228,386
出資金	489	589
長期前払費用	41,240	110,045
繰延税金資産	484,639	482,435
差入保証金	2,279,041	2,321,546
保険積立金	63,882	66,125
投資その他の資産合計	3,074,740	3,209,128
固定資産合計	14,428,891	15,363,476

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
繰延資産		
社債発行費	27,779	24,280
繰延資産合計	27,779	24,280
資産合計	18,680,011	20,187,290
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,729,527	3,968,206
1年内償還予定の社債	260,000	260,000
短期借入金	3,331,613	2,350,000
1年内返済予定の長期借入金	907,486	1,273,134
リース債務	237,145	305,873
未払金	305,325	450,655
未払費用	267,320	322,779
未払法人税等	86,626	33,100
未払消費税等	40,220	93,943
前受金	17,210	16,177
預り金	36,580	54,919
賞与引当金	119,355	170,628
流動負債合計	8,338,411	9,299,417
固定負債		
社債	1,480,000	1,350,000
長期借入金	2,509,711	3,002,065
リース債務	381,203	667,039
退職給付引当金	913,593	939,338
役員退職慰労引当金	239,626	244,448
長期預り保証金	343,723	339,194
資産除去債務	45,926	46,270
その他	2,001	2,554
固定負債合計	5,915,785	6,590,911
負債合計	14,254,196	15,890,329

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	941,500	795,524
利益剰余金合計	3,406,500	3,260,524
自己株式	△467	△467
株主資本合計	4,399,056	4,253,079
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,758	43,881
評価・換算差額等合計	26,758	43,881
純資産合計	4,425,814	4,296,960
負債純資産合計	18,680,011	20,187,290

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	21,581,209	21,306,600
売上原価	16,268,989	15,989,161
売上総利益	5,312,220	5,317,438
営業収入		
不動産賃貸収入	144,080	142,060
運送収入	382,781	376,624
営業収入合計	526,862	518,685
営業総利益	5,839,082	5,836,124
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	239,506	268,011
配送費	338,725	340,790
販売手数料	354,747	357,819
給料及び手当	1,055,846	1,084,278
賞与引当金繰入額	178,822	170,628
退職給付費用	57,983	64,211
役員退職慰労引当金繰入額	4,766	4,822
雑給	1,221,082	1,270,745
水道光熱費	373,244	402,417
減価償却費	267,983	262,008
地代家賃	475,047	509,578
その他	1,056,381	1,135,403
販売費及び一般管理費合計	5,624,137	5,870,715
営業利益又は営業損失(△)	214,944	△34,590
営業外収益		
受取利息	5,644	7,433
受取配当金	6,287	7,583
債務勘定整理益	507	994
受取補償金	11,690	2,100
雑収入	23,629	26,801
営業外収益合計	47,758	44,913
営業外費用		
支払利息	71,727	58,663
社債発行費償却	3,498	3,498
雑損失	13,208	841
営業外費用合計	88,434	63,003
経常利益又は経常損失(△)	174,269	△52,680
特別利益		
賃貸借契約違約金収入	—	564
特別利益合計	—	564
特別損失		
減損損失	4,363	9,264
固定資産除売却損	972	24,449
下請代金返還金	—	16,144
解約違約金	6,360	—
特別損失合計	11,696	49,858
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	162,572	△101,975
法人税、住民税及び事業税	78,385	18,396
法人税等調整額	△9,946	△37,617
法人税等合計	68,438	△19,221
四半期純利益又は四半期純損失(△)	94,134	△82,754

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	162,572	△101,975
減価償却費	267,983	262,008
長期前払費用償却額	5,746	7,196
減損損失	4,363	9,264
賞与引当金の増減額 (△は減少)	64,019	51,273
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,674	25,745
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9,653	4,822
受取利息及び受取配当金	△11,931	△15,016
その他の営業外損益 (△は益)	△22,618	△29,055
支払利息	71,727	58,663
固定資産除却損	972	24,449
その他の特別損益 (△は益)	—	15,580
売上債権の増減額 (△は増加)	△85,624	△82,579
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△97,620	86,216
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,100,100	1,239,673
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6,108	92,645
預り保証金の増減額 (△は減少)	△2,728	△3,965
その他	199,976	256,765
小計	1,650,718	1,901,711
利息及び配当金の受取額	8,658	9,942
その他の収入	35,319	28,902
利息の支払額	△65,322	△53,936
その他の支出	△13,208	△16,986
法人税等の支払額	△58,685	△74,375
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,557,479	1,795,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,010,000	△1,030,000
定期預金の払戻による収入	940,000	930,000
有形固定資産の取得による支出	△285,134	△638,241
無形固定資産の取得による支出	△1,500	△2,865
差入保証金の差入による支出	△113,148	△143,805
差入保証金の回収による収入	47,880	33,436
その他	21,055	△25,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△400,846	△876,819

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 8 月 31 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年 8 月 31 日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,042,814	△981,613
長期借入れによる収入	850,000	1,430,000
長期借入金の返済による支出	△577,067	△571,998
社債の償還による支出	△130,000	△130,000
リース債務の返済による支出	△131,562	△140,391
配当金の支払額	△62,926	△60,489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,094,371	△454,492
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	62,262	463,946
現金及び現金同等物の期首残高	371,254	398,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	433,517	862,704

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。